

成果指標				
成果指標	実績数値のみを記載する。			
指標設定の考え方	本事業は、配水池周辺への雑草被害防止対策が含まれており、指標の設定は困難である。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	504	522	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	配水池は、水道施設において重要な必要不可欠な施設である、不具合が生じれば市民生活に重大な影響を与えることが懸念される。施設内を維持管理することで、定期点検や緊急的な修繕も容易にでき、施設周辺の環境等も確保できている。今後は、清掃の時期、コストの縮減等、入念な計画をたて、適切な維持管理に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	配水池は、水道施設における基礎的な施設であり、その管理には、特に意を用いなければならないものである。したがって、施設内を適切に維持管理することで、定期点検や緊急的な修繕も容易になり、施設周辺の環境等も確保することができる。更に、清掃の時期等など入念な計画を立て、適切な維持管理に努めるとともに、コストの縮減等も図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題